

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度		開講キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科／管理栄養学科／食品開発科学科				
科目名称	食・緑・人 B						授業形態		講義・演習		
科目コード	170020	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○		
担当教員名	矢野原 泰士、早川 純子、日高 英二、田中 貴絵、藤本 朋美、西田 雅美、後藤 吉道、神垣 彬子、長友 多恵子、岡島 直方、杉田 亘、平岡 直樹								ICT活用	○	
授業概要	本学の教育研究の理念、教育目標に沿って、持続可能な社会づくりの担い手を育むために、学部・学科の学問分野を超えた特定のテーマを横断的に学ぶことを目的とした科目です。 講義テーマ：「子どもの貧困と環境」 SDGs：1,3,4 日本では、6人に1人の子どもが「相対的貧困」状態にあるとわれており、育った家庭やさまざまな事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていない子どもがいます。子どもの貧困は経済的面だけではなく、学習面や生活面、心理面など様々な面において、その後の人生への影響が大きく、こうした貧困の連鎖を断ち切るためには、子育てや貧困の問題を家庭のみの責任とするのではなく社会全体で解決することが重要となります。 本講義においては、本学の教育研究の理念である「食・人・緑」の食（栄養）と人（教育）の観点から、子どもたちの置かれている現状や、子どもの貧困の背景や直面する課題、貧困解決に向けた取り組みについて学びます。										
関連する科目	「子ども家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護」										
授業の進め方 と方法	・1回目：対面で受講する。 ・2回目～13回目：オンデマンドで受講する。ユニバーサルパスポートの「コース学習」で、オンデマンド教材（約60分）→小テスト→まとめ動画（約15分）の流れで受講する。 ・14回目：対面で受講する。グループワークの説明を行う。 ・15回目：オンラインで受講する。グループワークの結果についてグループごとに発表する。その内容に沿って個別にレポートを作成し、提出する（発表資料とは別）。										
授業計画 【第1回】	【オンデマンド】 オリエンテーション(本講義の意義 受講の進め方)										
授業計画 【第2回】	【オンデマンド】 子どもの貧困と現状①（子ども教育学科）若宮 邦彦 ソーシャルワーク(社会福祉)の理念について、「社会福祉とは何か？」という原点なる問いから考察する。										
授業計画 【第3回】	【オンデマンド】 子どもの貧困と現状②（子ども教育学科）若宮 邦彦 子どもの貧困の定義と実態について、制度と臨床の両面から考察する。										
授業計画 【第4回】	【オンデマンド】 子どもの権利（子ども教育学科）藤本 朋美 「子どもの権利」とは何か。 ①「子どもの権利」の課題について身近な生活の中から考察する。 ②子どもが自分らしく生活するために、これからの社会に求められることについて考察する。										
授業計画 【第5回】	【オンデマンド】 子どもと社会環境（子ども教育学科）若宮 邦彦 ファミリーソーシャルワークの視点から、児童虐待等との関連について考察する。										
授業計画 【第6回】	【オンデマンド】 子どもと家庭環境（子ども教育学科）西田 雅美 家庭における養育力の低下が叫ばれる中、家庭支援の対象や支援内容について理解するとともに、家庭支援を行うために必要な視点について考察する。										
授業計画 【第7回】	【オンデマンド】 子どもと教育環境（子ども教育学科）後藤吉道 教育格差を解消し、全ての子どもたちがチャンスを得られる取組が進められている。学校教育で配慮すべきことを考察する。										
授業計画 【第8回】	【オンデマンド】 社会的養護を必要とする子どもたちの現状（子ども教育学科）若宮 邦彦 児童福祉と社会的養護の関連・様々な権利侵害の中にいる子どもたちの実態について考察する。										
授業計画 【第9回】	【オンデマンド】 周りの環境から考える貧困①（子ども教育学科）神垣 彬子 教育現場における子どもの貧困に起因すると考えることができる教育相談の課題、およびそれらに対する介入や支援について考察する。										
授業計画 【第10回】	【オンデマンド】 周りの環境から考える貧困②（子ども教育学科）若宮 邦彦 支援に携わる実践家の活動を通して、多職種連携の意義について考察する。										

授業計画 【第11回】	『オンデマンド』 食から考える貧困①（管理栄養学科）長友 多恵子 行政の取組：法律および「国民健康・栄養調査」結果等から、貧困による食への影響と問題点を考察する。
授業計画 【第12回】	『オンデマンド』 食から考える貧困②（管理栄養学科）田中 貴絵 教育現場での取組：食育教育 ・食育とは ・学校における食育の状況 ・科目と食育
授業計画 【第13回】	『オンデマンド』 食から考える貧困③（管理栄養学科）田中 貴絵 地域の取組：子ども食堂 等 ・食を通じた居場所づくり ・フードバンク活動 ・子ども食堂
授業計画 【第14回】	【対面授業】 みんなで考える「子どもの貧困の原因・課題」 （コーディネーター：子ども教育学科 若宮・神垣・管理栄養学科 田中 貴絵・生地） ・グループワーク
授業計画 【第15回】	《オンライン》 みんなで考える「子どもの貧困を解消するための方策」 （コーディネーター 子ども教育学科 若宮・神垣・管理栄養学科 田中 貴絵・生地） ・グループ発表と個人で作成したレポートの提出
授業の到達目標	1. 相対的貧困の状態に置かれている子どもたちの現状について説明することができるようになる。 2. 子どもの貧困の背景や直面する課題について理解し、支援の在り方について考察することができるようになる。 3. 貧困解決に向けた取り組みについて、根拠に基づいた自分なりの考えを述べることができるようになる。 4. 社会福祉・児童福祉・社会的養護・食と栄養と「子どもの貧困」の関連と実相を考察することができるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	次回講義のシラバスを確認し、授業計画の内容から講義のキーワードを考える。それについて本や新聞、関係省庁のHP等を活用して調べ、自分なりの視点で興味関心を持った状態で次回講義に臨むことができるよう準備する（約1時間）。
授業時間外学習【復習】	講義内で実施した小テストの内容をもとに講義の振り返りを行う。また、予習内容と講義内容の両方を見直す。（約1時間）
課題に対する フィードバック	毎回小テストを実施する。
評価方法・基準	小テスト実施状況 最終プレゼン評価ルーブリック
テキスト	適宜紹介する。
参考書	適宜資料を配布。
備考	選択必修